

ミツバチ研究会で、

「蜂っ子」の講演をおこないました。

2003年1月12日(日)、東京都町田市の玉川大学において第25回ミツバチ科学研究会が開催されました。この研究会は、毎年1月に玉川大学ミツバチ科学研究施設が主催するもので、農学部第二校舎502番大教室においておこなわれ、毎回全国各地からたくさんの方々が関係者が集まる、ミツバチ関係の最大のイベントです。

25回目となる今回は記念講演として各分野から数名の研究発表がありました。ミツバチの生態や養蜂技術関係など各分野について



▲全国から230名の参加がありました。



▲「蜂っ子」の講演をしました。

ていただきました。天然アミノ酸を豊富に含み、さらにビタミンやミネラルといった栄養素もたいへんバランス良く含まれているハチの子は、今後のミツバチ研究における最も高い関心事のひとつになっていくものと思われれます。

ミツバチ生産物を取り扱っているたくさんの方がある中で、私どもがハチの子の講演をさせていただいたことは、たいへん名誉なことであ

の研究発表の中で、私も株式会社ナルミも「栄養の宝庫・蜂っ子」と題してハチの子の秘めている大きな可能性についてお話しをさせていただきます。



▲たくさんの方で賑わう「蜂っ子」のブース

ける商品作り、サービスに取り組んで参ります。今後のますますの研究・開発にどうぞご期待ください。

ると共に、品質にこだわり続けてきた私どもの長年の姿勢が、信用となつて評価された結果であると思っております。これからも私たちは皆様に喜んでいただ



▲玉川大学ミツバチ科学研究施設主任 吉田忠晴教授と一緒に